

与良川統合排水機場建設工事受注企業による コウノトリのヒナへの足輪付け等作業への協力について

令和2年7月

栃木南部農業水利事業所

当方国営事業の主要工事施設である与良川統合排水機場の建設地に隣接する渡良瀬遊水地第2調節池には、2018年からコウノトリ「ひかる」が飛来し始め、小山市が設置した人工巣塔において、設置の翌日から巣作りが始まり2020年3月には、「歌」とカップルとなり、5月30日（孵化推定日）に2羽のヒナが誕生しました。

この野外繁殖によるコウノトリのヒナの誕生は、1971年に国内野生コウノトリが絶滅以降「東日本初」、2歳という若さの雌のコウノトリが産んだ卵の孵化は「日本初」の快挙で、同市が渡良瀬遊水地の「賢明な活用の3本柱」のひとつとして掲げてきた「コウノトリ・トキの野生復帰」への長年の取組みの成果です。【わたらせ自然ミュージアム <https://www.watarase-museum.net/>】

43日齢の2020年7月12日（日）には個体識別のための足環装着及び検体採取（※）が実施されました。

同作業においては、同市から同機場建設工事の受注者である前田建設工業（株）に高所作業車の手配および操作について協力要請があり、無事に遂行されました。（7月26日、同市から同社へ感謝状贈呈）

また、性別判明後、2羽には「わたる」（オス）、「ゆう」（メス）と命名されました。

当事業所としては、今後もこのような豊かな自然生態系の保全のために配慮してまいります。

※＜作業の目的＞

○コウノトリの個体番号が書かれた異なる組み合わせの色の足環を装着することにより、個体の識別が可能となり、個体の生態等を詳しく把握・調査することができる。

○足環装着に併せて検体採取を行うことにより、ヒナの健康状態や性別が分かる。



高所作業車によるヒナ捕獲



足環装着等作業



堤防上の多数のギャラリー



感謝状贈呈